



2020年1月31日

各 位

会社名 九州電力株式会社
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 池辺 和弘
 (コード番号 9508 東証第一部・福証)
 問合せ先 ビジネスソリューション統括本部
 業務本部予算グループ長 川添 誠一
 (TEL 092-761-3031)

業績予想の修正に関するお知らせ

2019年10月31日に公表した2020年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、期末配当予想については、前回公表値（普通株式1株あたり15円、年間35円）から変更はございません。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期通期 連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,035,000	80,000	55,000	30,000	58.26
今回修正予想 (B)	2,035,000	65,000	40,000	20,000	37.12
増減額 (B-A)	—	△15,000	△15,000	△10,000	
増減率 (%)	—	△ 18.8	△ 27.3	△ 33.3	
(ご参考) 前期実績(2019年3月期)	2,017,181	86,575	52,544	30,970	58.05

2020年3月期通期 個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,850,000	50,000	25,000	10,000	15.97
今回修正予想 (B)	1,850,000	35,000	10,000	0	△5.16
増減額 (B-A)	—	△15,000	△15,000	△10,000	
増減率 (%)	—	△ 30.0	△ 60.0	△ 100.0	
(ご参考) 前期実績(2019年3月期)	1,867,152	60,656	32,534	23,425	42.08

2. 修正の理由

2020年3月期の連結業績予想につきましては、足元の気温が平年に比べ高めに推移している状況や業績の動向等を踏まえ、2019年10月31日に公表した業績予想を修正いたします。

売上高につきましては、国内電気事業において、小売販売電力量の減少などによる電灯電力料の減少や卸電力取引の市況低迷などによる他社販売電力料の減少などはあるものの、再エネ特措法交付金が増加することなどから、前回公表値から変更はなく、2兆350億円程度となる見通しです。

経常利益につきましては、国内電気事業において、電灯電力料や他社販売電力料の減少に加え、販売電力量の減少による余剰LNGの増加などに伴いLNG転売損失が拡大したことなどから、前回公表値を下回る400億円程度となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回公表値を下回る 200億円程度となる見通しです。

2020年3月期の個別業績予想につきましても、連結と同様に修正いたします。

(参考) 主要諸元表

	今回公表	前回公表	増 減	[参考] 2019年3月期
小 売 販 売 電 力 量	742億kWh	753億kWh	△ 11億kWh	727億kWh
卸 売 販 売 電 力 量	77億kWh	82億kWh	△ 5億kWh	79億kWh
総 販 売 電 力 量	819億kWh	835億kWh	△ 16億kWh	806億kWh
原 油 C I F 価 格	68\$/b	67\$/b	1\$/b	72\$/b
為 替 レ ー ト	109円/\$	109円/\$	—	111円/\$
原 子 力 [送 電 端] (設 備 利 用 率)	286億kWh (81.8%)	286億kWh (81.7%)	— (0.1%)	288億kWh (73.1%)

(注) 販売電力量は、当社グループ合計(当社及び連結子会社(九電みらいエナジー(株)))の数値を記載している

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上